

平成30年2月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	平成30年2月6日(火) 午前11時10分～正午まで
場 所	青葉区役所4階402・403会議室
出席者	<p>【議長】 行田朝仁議員</p> <p>【議員：9名】 青木マキ議員、赤野たかし議員、大貫憲夫議員、内田みほこ議員、菅野義矩議員、小島健一議員、藤崎浩太郎議員、山下正人議員、横山正人議員</p> <p>【説明局員：33名】 小池恭一区長、小出重佳副区長、勝島聡一郎福祉保健センター長、近野真一福祉保健センター担当部長、楨重善青葉土木事務所長 ほか関係職員</p>
次第	<p>報告事項</p> <p>(1) 平成30年度 青葉区内における主な局予算事業について (資料1・区政推進課)</p> <p>(2) 「AOBAデジタル・アートミュージアム」について (資料2・区政推進課)</p> <p>(3) 青葉区における災害対策の取組状況について (資料3・総務課)</p> <p>情報提供 あおばdeつながり協力店について</p>
報告事項	(1) 平成30年度 青葉区内における主な局予算事業について
発言の要旨	<p>内田議員 電線類の地中化について、緊急輸送路などを優先する趣旨から、市ケ尾地区の横浜上麻生線で整備を進めるとのことだが、他の地域でも例えば荏田から港北に抜ける細い道は、車の往来が激しいが、電柱が邪魔で危険な箇所がある。 整備の優先順位については、市民の意見も酌み取らなければいけないと思うが、今後どのように取り組んでいくつもりか。</p> <p>木村青葉土木事務所副所長 電線類の地中化については、全市的に計画を策定しており、青葉区では、区役所前の横浜上麻生線で事業を進めている。 今年度は試掘を行い、試掘結果に基づき来年度に詳細設計を行い、その後、工事を行う予定である。 工事の期間については、ガス管や水道管といった各企業者の地下埋設物を移設し、そのあとに電線類を埋設するというので、様々な工事が込み合うため時間を要すると聞いている。 横浜上麻生線以外の地区での電線類の地中化の計画については、今後</p>

	<p>検討されるものと考えている。</p>
内田議員	<p>長い時間がかかると思うが、進めていただきたい。</p>
横山議員	<p>民泊については、6月15日から解禁されるが、横浜市は民泊事業に制限をかける方向で条例案を提案している。</p> <p>区内の民泊の状況について、区で把握はしているか。</p>
鈴木生活衛生課長	<p>民泊をやりたいという方のご相談には乗っているが、現時点で簡易宿所等での営業は把握していない。</p>
横山議員	<p>今は規制の対象外ということもあり、区で把握していないのだと思うが、民泊サイトを見ると区内でも営業している。</p> <p>今の段階では、民泊に関して主だったトラブルはないということか。</p>
鈴木生活衛生課長	<p>現時点では、報道されているようなごみの問題や騒音の問題について、ご相談は寄せられていない。</p>
横山議員	<p>条例の骨子に対するパブリックコメントでは、市民意見はあまり多くは出なかった。しかし、実際に民泊が解禁されて、トラブルが起きて初めて、これは大変だということになってくると思う。</p> <p>今後、苦情が多くなれば弾力的に対応していくと当局は言っている。区役所も住民に身近な存在として、情報収集を怠らないでほしい。</p>
横山議員	<p>駅案内サインの改修について、今は多言語化が進み、東急電鉄でも日本語、英語、韓国語、中国語の4か国語が表示されているが、その分、日本語が表示されるまで時間がかかる。</p> <p>中国語の簡体字やハングルしかわからないという人が日本にどれだけ来ているか、英語と日本語とローマ字表記があればよいのではないか、という意見が私のもとに寄せられている。</p> <p>4か国語で表記するとしても、例えば表示される時間を、日本語が全体の2分の1、英語が4分の1、その他が4分の1、といったように工夫が必要ではないか。</p> <p>交通局は今のところ日本語と英語で表記をしているので、それほどストレスなく情報収集できるが、羽田空港の掲示板などは、いつになったら日本語が出てくるのかと思う。</p> <p>こういう意見があったということを経営局、東急電鉄に伝えてほしい。</p>

	小池区長	インバウンドや、オリンピック等との兼ね合いもあると思うが、伝えていきたい。
	赤野議員	<p>横浜市の場合、予算は全市分として計上されていて、青葉区の予算としての個別計上が難しいのは承知しているが、例えば平成28年度の予算に関して、結果としてこれだけの予算を青葉区内での事業に費しました、という資料がないと、次年度に向けた議論がしにくい。</p> <p>決算審査をするわけではないので、細かい数字までは求めないが、このような事業をやりましたということは、ぜひこの場でご報告いただきたい。</p>
	小池区長	<p>昨年の資料では、青葉区での事業の切り出しもできていなかった。しかし、それではどこに青葉区の仕事が入っているのかわからないというご指摘を受けて、今回、青葉区での事業を切り出して表記した。</p> <p>今回、青葉区で必要としている事業には、局の予算をできるだけ確保したと考えているが、今後は、切り出した事業について実際にどの程度進捗したのかがわかるよう、資料の書き方についても検討したい。</p>
報告事項（2）「AOBAデジタル・アートミュージアム」について		
発言の要旨	藤崎議員	<p>取り組み自体はいいと思う。ただ、市全体のウェブサイトの再構築が始まる中で、どのようにデジタル・アートミュージアムを当て込めていくのか、全体として食い違いがないように統合していかなくてはいけないと思うが、その点はどうか。</p>
	鈴木区政推進課長	<p>市のウェブサイトを所管する総務局とも相談しているが、デジタル・アートミュージアムのサイトは、市のウェブサイトの外に設置することとしている。</p> <p>したがって、市のウェブサイトが再構築されても、デジタル・アートミュージアムのサイトは引き続き閲覧できる予定である。</p>
	山下議員	<p>非常に青葉区らしい、よい取組だと思う。</p> <p>青葉区ゆかりの作家の作品を紹介するアートアーカイブに加えて、あおば美術公募展やフォトコンテストに入選した区民の作品を紹介するギャラリー機能も設けるとのことだが、青葉区には、例えば院展などに応募して賞を取られているような方が多くいる。</p> <p>こうした区民の方々の作品は、アートアーカイブとギャラリーのどちらで紹介することになるのか、判断の基準は考えているか。</p>

	<p>小池区長 ご覧いただいたアートアーカイブの案では、中島清之先生にしても松尾先生にしても、いわば巨人といってもいいような方たちをまずピックアップした。</p> <p> あおば美術公募展などにはプロではない方も入選されているが、こうした方々の作品もサイトで紹介することで、ご自身を始め関係する方々もこのサイトを見に来ていただける。お子さんの作品が紹介されれば保護者の方もサイトを見てくださる。結果として、このサイト自体の認知度も上がるのではないかという期待もある。</p> <p> そういう意味で、区が共催する展覧会についても載せていこうと考えている。</p> <p> ただ、先生がおっしゃるように、アートアーカイブと区民の作品ギャラリーとの中間領域のところは、本当に判断が難しいと思う。</p> <p> その点は今後研究して、行き違いのないようにしていきたい。</p> <p>青木議員 インフォメーションのコーナーにギャラリーの展示会情報というものがあるが、これも、どこまで載せていくのか。区内には、小規模なものまで入れると非常に多くのギャラリーがあると思うが。</p> <p>鈴木区政推進課長 市の芸術文化振興財団で発行しているヨコハマ・ギャラリー・マップに掲載されているギャラリーの紹介を考えている。</p>
<p>報告事項（3）青葉区における災害対策の取組状況について</p>	
<p>発言の 要旨</p>	<p>山下議員 福祉避難所の備蓄に段ボール製簡易ベッドも入るということだが、他都市の例では、提供元の東日本段ボール工業組合と災害協力協定を結んでいても、いざというときに配布された段ボール製品の使い方がわからず、山積みされるということがあったと聞いている。</p> <p> 福祉避難所に関しては、ボランティアに入る方もいらっしゃると思うので、地域防災拠点の運営訓練などを通じて、こういったものがあるということをぜひ周知して活用できるようにしていただきたい。これは、意見として言っておきたい。</p> <p>藤崎議員 「青葉区民防災必携」に関して、「青葉区防災マップ・ガイドマップ」という、もう少し小さいものが別にあるが、これは並行して提供していくのか、それとも30年度以降は一本化されるのか。</p> <p>川合総務課長 ガイドマップは、地域防災拠点の場所を確認する用途としては非常にハンディーで便利だったので、それなりにニーズがある。</p> <p> 今後、防災必携の使い勝手と比較しつつ、方向性としては統合してい</p>

	<p>くものと考えている。</p> <p>横山議員 青葉区防災ラジオでは、Jアラートについてどのように扱うのか。</p> <p>川合総務課長 現在のところ、青葉区防災ラジオやコミュニティFMとの連動はしていないが、Jアラートが発報された場合は、携帯電話やテレビ、一般的なラジオで知ることができると考えている。</p> <p>青葉区内に被害が出たり、避難が必要な場合などローカルな情報がある場合は、このラジオとスマートフォンアプリを通じて、区役所から発信していくことを考えている。</p>
<p>情報提供</p>	<p>あおばdeつながり協力店について</p>
<p>発言の 要旨</p>	<p>(特になし)</p>